



大袋鉄橋をわたるデハ203号と750号



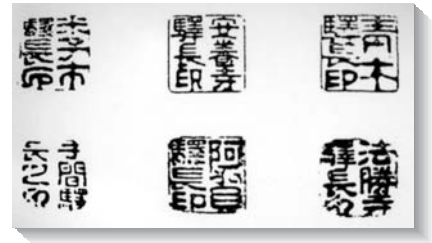
米子市駅



三崎地内に残る電車道跡



大袋鉄橋の橋脚



駅長公印

### 守り、伝える地域の宝

平成8・9年度の2カ年にわたり、鳥取県教育委員会により近代化遺産の保護・活用に資するために行われた「鳥取県近代化遺産総合調査」においても、本町の「デハ203号電動車」は高い評価を得ています。

さらに周辺資料として銘板や駅長公印、タブレット等の他に乗車券等の紙資料も80点以上存在（祐生会いの館所蔵）しています。これらも貴重な資料であり後世に引き継いでいかなければなりません。

### 県指定保護文化財に向け

南部町教育委員会では、このような文化財としての価値がある電動客車及び周辺資料を一括して、本年6月に町指定文化財に登録しました。現在、鳥取県教育委員会によって、米子市に保存されている客車（フ50号）とともに県指定保護文化財として指定するよう県文化財保護審議会に諮問されており、文化財として高い評価を得ています。

## 懐かしさ…そして、これからを語り合う ～法勝寺電車フォーラム2010～

10月24日、米子市のパティオ広場（法勝寺町）において、法勝寺電車フォーラム2010「法勝寺電車を語る」が行われました。これは鳥取県・鳥取県教育委員会と米子市・米子市教育委員会、南部町・南部町教育委員会が主催し開催されたもので、職業能力開発大学校非常勤講師で鳥取県文化財保護審議会専門委員の堀一郎さんをはじめ米子市、南部町からパネラーが出演しフォーラムが行われました。南部町からは法勝寺駅のすぐ近くにお住まいの矢吹奎さん（南部町教育委員長）が参加、往事の思い出話などを披露しました。その中で矢吹さんは、「兄や姉が電車に遅れそうになると父が駅に電話をし、電車の出発を待ってもらった」など、のどかな時代のエピソードが紹介されました。



矢